

和島賞に當眞さん

元県立博物館長 文化財保存貢献



當眞嗣一さん

文化財の保存や活用に貢献した個人や団体を表彰す

る第23回「和島誠一賞」(主催・文化財保存全国協議会)の個人部門にこのほど、元県立博物館長の當眞嗣一さん(77)＝西原町IIが選ばれた。県内からの受賞は初めて。

當眞さんは県教育庁の文化財保護行政部門に長年勤め、琉球王国の遺跡群を世界遺産に登録する作業の中心的な役割を担ってきたことなどが評価された。

またグスク(城)研究の第一人者として、グスクの構造や変遷などの解明を進め、『琉球グスク研究』(2013年)を刊行。戦争遺

跡や遺留品を戦争資料として保存し、後世に伝える「戦跡考古学」の必要性も提唱した。

沖縄考古学会会長なども歴任。現在、グスク研究所を主宰している當眞さんは「考古学のそうそうたる先駆者らが選ばれてきた賞を頂き、大変驚いている。地道に足で稼ぐ研究が評価されたと思う。今後は沖縄にある400近いグスクを網羅した総覧の刊行に挑みたい」と抱負を語った。